

新左翼

記事紹介

- 二面 ★キューバ革命記念集会開か
- ★アメリカの反戦ビラ
- 三面 ★八月国際反戦関西集会にあたって
- ★八月国際反戦関西集会にあたって
- ★日中友好(正統)全国大会に参加して

国際反戦・反帝闘争の前進のために!

—8.4国際反戦関西集会へ—

世界のパワー—参集

経験交流と行動の統一へ

OLAS(オランダアメリカ人民連帯機構)、SNCC(学生非暴力調整委員会)、SDS(アメリカ民主社会のための学生運動)、NBAWADU(黒人反戦反帝委員会)、SWP(アメリカ社会主義労働者党)、SDS(ドイツ社会主義学生同盟)など、世界各国の革命的活動組織の代表が結集する「八月国際反戦集会」が、七月二十六日の東京日比谷公会堂における「キューバ革命」モンカー兵隊攻撃十五周年記念集会の開催によりその幕が開かれた。



パリにおける学生の大デモンストレーション

平和運動から反戦、そして反帝、反共主義の闘いへと全世界の共通の質的な発展を遂げてきた闘いの高揚を、真の国際主義の旗の下に統合し、更に強力な国際的統一行動として発展させることを追求する「八月国際反戦集会」は東京集会の呼びかけに応じて実行委員会に

参加した組織は十三団体—日本共産党(解放戦線大阪)、共産主義者同盟関西地方委、社青同国際主義派関西地方委、第4インターナショナル日本支部、社青同解放派、毛沢東思想学院、社青同ML派、関西地区反戦連絡会議、電通労働運動研究会、ベトナム反戦大反戦委員会、日中友好青年学生共闘会議、近畿自主上院組織の会、ラッセル裁判国際法廷書記次長鶴崎鶴(個人参加)—である。

このように任務を果すために八月国際反戦日本実行委員会は結成され、各国の闘いを代表する全ての人々が、日本に集まろうとして

8.4反戦集会に

闘う思想の結集を

実行委員会事務局長 清田祐一郎

昨年十月八日の羽田以来、日本の青年労働者学生は、主として街頭において、運動の新しい型をつくりあげてきた。いつの時代にも古い政治の枠組みを越えたいは、たとえそれが官僚の暴虐に照応し、真に人民の利益を代表するものであったとしても、

反帝勢力の

国際的連帯を強化せよ

日本共産党(解放戦線)

最近の西ドイツ学生の闘争とフランスの五月革命を離れ地として、全世界に波及した一連の大闘争は、まさに世界革命が新しい段階に突入したことを示すものである。現在、帝国主義は全面的に崩壊しつつあり、最終的な危機に到達しつつある。

成功した。世界革命の日は、ソ連に修正主義の権力が出現したことによって重大な損害を受けたが、中国はこれを救済し、世界革命の重要な一環を形成したのである。アメリカ、フランス、ドイツ、イギリスの諸国におけるさききんの階級闘争の激化は戦後二十年にわたって「安定」を誇ってきた帝国主義世界体制の心臓部が革命的激動のなかに入りつつあることを示すものである。

同時に多かれ少なかれベトナム解放闘争とのかかわりをもたながら形成されてきたこれらの運動は「平和から反戦へ」「反戦から反帝へ」という共通の質的な飛躍を

いよいよ有機的に密接に関連しあいがら、帝国主義にむかって、集中的に打撃を浴びせかけている。昨年十月八日の羽田闘争によってきりひらかれた、日本の新しい階級闘争の高揚もまた、この全世界的激動の重要な一環として発展しているのである。

「八月国際反戦集会」に参加する外国代表の第一陣として、SWPのフレッド・ハルステッド委員長とサ・ミリタント紙の記者の二人が、二十八日來日した。

SWP代表に

政府不当な干渉

革命的国際集会の成功をおそれる支配権力は、不当にもこの二人に集会に参加しないよう条件をつけた。

祝 旬刊 新左翼 発刊

- 日本共産党(解放戦線)
- 社青同国際主義派 関西地方委員会 TEL(七六二)二六〇二
- 電通労働運動研究会 大阪中央郵便局私書函八五六
- 富田地区反戦青年委員会
- 第四インターナショナル 日本支部 京都市下京区東中筋花屋町下ル三三五 大屋史郎
- 共産主義者同盟 関西地方委員会 大阪市福島区鶴洲本通一ノ六 北村ビル
- 関西地区反戦連絡会議 尼崎市中島二二五グリーンハウス内 連絡先(四二九)四四七六
- 大阪 北大阪反戦青年委員会 堺反戦青年委員会 吹田反戦青年委員会 高槻反戦青年委員会
- 兵庫 尼崎反戦青年委員会 西宮反戦青年委員会
- 京都 洛北反戦青年委員会 洛西反戦青年委員会 洛南反戦青年委員会
- 和歌山 和歌山反戦青年委員会

八月国際反戦集会第1弾

キューバ革命記念集会ひらかる

—モンカーダ兵営攻撃十五周年—

【日比谷】

キューバ革命の一月国際反戦集会日本実行委員会の主催により、日本キューバ文化交流研究所の協力を得て、東京を会場とする「八月国際反戦集会」の一環として開かれたもので、約二、二〇〇名の青年、学生、労働者が結集した。

集会は、八月国際反戦集会日本実行委員会松本社長、委員長長岡の挨拶で始まり、山本善子日本キューバ文化交流研究所所長の講演、モンカーダ兵営攻撃十五周年記念集会は、二十一日午後六時より東京日比谷公会堂において開催された。

この集会の成功におおのく寄与した力は、機動隊をくりだし、不当弾圧、規制を行なった。この闘いにより約一〇〇名が不当逮捕された。

キューバ革命記念集会は、毎年7・26キューバ革命記念、前夜祭は、日本キューバ文化交流研究所の主催により、七月二十五日午後八時東京千代田公会堂で開催された。

同集会は、シミ、ブレシの両氏により、音楽会形式で行なわれ、松岡（ソノ）求道、御影（ミカド）氏などによるキューバ音楽が会場の空気を盛り上げた。

また、自由劇場の人たちの出演もあり、小集ながら、友好の気あふれる会合となり、参加した人びとに大きな感動をもたらした。



7・20 伊丹空港デモの先頭をゆく高校生

ローマの労働者

25万人がゼネスト

【北京七月十三日発新華社】ローマ地区の二十五万人の農業労働者・工業労働者は十一日、連日二十四時間のゼネストを行ない、イタリア政府と独逸アルプス労働組合の苛酷な搾取に反対して新たなストの高まりを起している。ローマ地区の農業労働者は「共和団広場」に集合した。十一日午前、数千人の労働者が「ローマ市の中心地で盛大なデモ行進を行なった。かれらは、イタリアの中心地で大衆集会を開き、資本家の労働者解雇に抗議し、政府が措置を講じて労働者の就業を保障することを要求した。

この数年、イタリア独逸アルプス労働組合は、イタリア労働者の生活を日まじりに苦しめている。多数の労働者が職にありつけず、イタリアの首都ローマだけでも、三万人の農業労働者が失業している。一万七千人の農業労働者がローマ近郊の農村を追い回されて、職を求めたところをさまよっている。農業労働者も、労働者も資本家の搾取と抑圧を受けている。労働者はこうした境遇をきわめて憤っている。

イタリアのその他の地区でも、ストライキ高まりが起っている。十一日、イタリア北部のフェララとラベンナで、また十五日イタリア中部のピステヤで労働者がそれぞれストを行ない、完全就業を要求し、資本家の残酷な搾取に反対した。連日、イタリアの多数の都市の機械製造工場、化学工場、紡績工場、食品工場、製糖工場、その他の工場がストライキが繰り出している。

イタリアの各新聞の植字労働者は十三日、再度二十四時間ゼネストを行なって資本家が労働者の合理的要求を拒否したことに対する抗議を表明した。このストによって十二日の夕刊と朝刊がストップした。

シエーナ港では、イタリアの運送船「ラファエル」の乗務員がストを行ない、業務条件を改善し、労働組合の権利を受け入れよう要求した。ストの船員は、政府直営の「イタリア」公団の事務所前でデモを行なった。イタリア南部のバリンでは、国営金属機械製造工場「フシネ・メリデイオリ」の労働者が、四十五日間にわたってこの工場を占拠した。工場当局は労働者の給料値上げの回答を出さず、労働組合の権利を認めさせ、さらに労働者代表を解雇した。労働者は、この決定を取り消させた。

暴力で土地を占拠 エクアドルで

【北京七月十四日発新華社】中国通信「クアキル」からの報道によると、最近エクアドルでは、農民と労働者が暴力で土地を占拠する闘争が激しく起きている。

数日前、エクアドル南部のライマン付近の「サンタナ」農場の農民は、警察の残酷な弾圧を恐れ、農場主の搾取に反対して立ち上がり、同農場の耕作地を奪取した。

先月、エクアドルの最大の都市グアヤキルの郊外の労働者数百人とその家族は、同市南部の「ラサヤ」農場の一部を占拠して住居の建設にとりかかっている。

労働者たちは、刀と石で警官の弾圧に英雄的に反抗し、六人を負傷させた。警察は催涙弾、小銃弾、こん棒で労働者を強制退去させ、多数の労働者を逮捕した。

8.15 記念国際反戦連帯大阪集会

日時 8月15日午後6時
場所 厚生年金会館
(国鉄環状線森の宮駅下車)

反戦ニュースを武器に

前進する富田地区反戦

羽田、佐世保の闘い以来、高槻市富田地区にも反戦の闘いに積極的に参加するなど、反戦闘争の機運が高まってきたが、三月二日の「流血の砂川」の映画会と三月一〇日の三重県闘争報告を軸に、富田地区反戦の結成集会をもち、組織的な反戦への闘いの第一歩をふみ出した。

以来、われわれは次のような闘いに積極的に関わり、参加した。

- ★ 3・21 3・10 三重県闘争報告集会。富田地区反戦結成
- ★ 3・31 三重県闘争に代表一名を派遣
- ★ 4・4 3・31 三重県闘争の報告集会
- ★ 4・17 4・19 全大阪反戦集の呼びかけに賛同
- ★ 4・18 富田地区反戦学習会
- ★ 4・19 全大阪反戦集に参加
- ★ 4・21 全大阪反戦集に代表三名を派遣
- ★ 5・2 4・19 以後の闘いの総括集会
- ★ 5・14 5・20 富田地区反戦集会の準備と闘いの方針討議
- ★ 5・17 5・20 富田地区反戦集会の呼びかけに賛同
- ★ 5・20 富田地区反戦集会、映画と4・21 以後の闘いの報告
- ★ 6・4 全大阪青年決起集会に参加
- ★ 6・15 ベトナム反戦、御堂筋デモに参加
- ★ 6・26 大阪臨港軍事利用反対集会に連帯の挨拶を送る
- ★ 6・29 6・15 教授カンパを大阪駅前で行う
- ★ 6・30 三重県決起集会に代表派遣

これが、結成後の富田地区反戦の闘いのあゆみです。

昨年のシエーナ・佐世保闘争以降、日本の帝国主義的侵略の準備が露骨に進行されつつあり、これが米帝国主義のベトナムにおける完敗が、近づけば近づけば、ますますそのデモンストラート準備している。

日本帝国主義の復活が日本の若者たち、すなわち反戦闘争に結集した若者を反帝、反戦、平和、独立への闘いに身を賭して立ちあがらせている。

われわれも、論外ではない。6・15 御堂筋デモには、富田地区反戦として最大の動員で戦線的に関わり、八年目に実力を、御堂筋を奪い、八年前の闘いの一翼を担った。

この闘いで、われわれの仲間、名が弾圧の「ギセイ」となり負傷した。又、「携帯マイク」一合も、機動隊に「強奪」された。

大阪の反戦、平和の闘いは、6・15 御堂筋デモを契機に新しい転機をかえりなくしている。富田地区反戦も、8・15、8・17 へと向けて、われわれの闘いの課題「組織の強化」へと、地区反戦ニュースを武器に大きく前進しようとしている。

銅山労働者がゼネスト

【北京七月十四日発新華社】中国通信「リマ」からの報道によると「米南ペルー銅山労働者」管理下にある南ペルーの銅山労働者二千人は、米帝国主義の残酷な搾取に抗議し、賃金引上げを要求して、七月十日から無期限のゼネストに入りました。

トケラ銅山労働者のストは、一日二万の損失という手痛い打撃を米国会社に与えている。ペルー当局はストライキ中の労働者を弾圧するために、銅山地区に多くの警官隊をくり出した。また最近、クスコ県コンベンシ

オン地区の農業労働者約一万人がペルー政府が行った「土地改革」に抗議して、無期限のゼネストを開始した。このストにより同地区のすべての農場、私有地の農業労働者がマヒ状態に陥った。

さらにこれより先、ペルー農民連合会下の「フアル、ジャンカ」の農村の農業労働者、千人は、農地所有者による迫害に抗議して集会を開き、農業労働者に対し緊密に団結し、土地、正義、自由を勝ち取るために激戦を、長期にわたる、効果的な闘争を展開するよう呼びかけた。

徴兵拒否を訴え THE RESISTANCE

(ザ・レジスタンス) アメリカ

今日もベトナムの男や女や子供達は死ぬ。彼等はアメリカ兵の銃剣で刺殺され、アメリカの飛行機がおもむきで焼死させられた。この行状は、毎日、平凡なアメリカ人によって行われ、しかも彼等の大部分は、ベトナムにきたたけではない。徴兵されたのである。我々の政府がそこへ行くのを命じたのだ。我々は、これらの犯罪について何が出来るのか？

嘆息を吐いて、あなたは自分の地位を求め、ノーマルで幸福な生活を送って、それでいいか。ベトナム戦争について強く

彼らに拒否する権利がある。彼らに拒否する権利がある。彼らに拒否する権利がある。



ベトナム反戦を闘うアメリカ学生

のかわりに他の人々が出かけるように、受動的に、兵役延期を受けるとは、これ以上出来ないと考える人々の集団である。我々は徴兵に協力することを「拒絶」する。そして、他のアメリカ人すべては兵隊の資格があつても、我

武器をとって闘う

アメリカ黒人青年

米軍においての黒人の闘争は最近、新たな高まりをみせ、急速に発展している。

我々の誰かが逮捕されても、きつと我々はそこの一掃に勝つた。例えは我々も、兵隊の役法を破ったと言つて連邦政府の弁護士に申し立てたことがあつた。そして、あらゆる職業の男女が彼らは兵隊の資格があつても、我

武器をとって闘う

アメリカ黒人青年

米軍においての黒人の闘争は最近、新たな高まりをみせ、急速に発展している。

我々の誰かが逮捕されても、きつと我々はそこの一掃に勝つた。例えは我々も、兵隊の役法を破ったと言つて連邦政府の弁護士に申し立てたことがあつた。そして、あらゆる職業の男女が彼らは兵隊の資格があつても、我

八月国際反戦関西集会にあたって

諸組織の見解

八月国際反戦集会は、編集部では、参加、非参加の諸組織の意見を寄せた。依頼したのは、共産党、第四インター、社青同ML派、社青同国際主義派、毛沢東思想学院、共産党(解放戦線)、革共同、共産党の各組織。この内、第四インターは「原稿未着、毛沢東思想学院は「複雑な情勢なので」と寄稿がなかった。(文責は編集部)

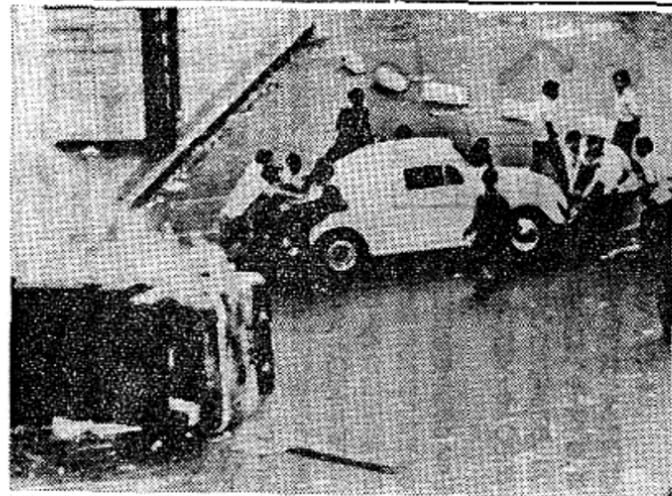
世界革命の 単一指導部を 共産主義者同盟 関西地方委員会(談)

参加

開始された世界史上再分割への諸帝国主義の突入は、世界的な規模での階級闘争の激化をもたらした。世界のプロレタリアートは、「帝国主義が世界革命か」の重要な問題を迫っている。

過渡期世界に規定された、後進国民解放闘争と社会主義の闘争と先進国プロレタリアートの闘いと、社会主義国でのプロレタリア独裁の追求と、この世界革命の根拠地への転化の結合、攻撃形階級闘争の形成、世界革命闘争の物的基礎を形成し、世界同時革命の展開をわれわれにあてられている。

日帝打倒を自衛隊解体・防衛庁攻撃を頂点とした全国軍事基地攻撃を頂点とした全国政治闘争として展開する革命的階級闘争は、その意味で今夏の国際反戦集会



警察の車を破壊するブラジルの学生

こそ、世界単一(第五インター)の創設へむけての全世界プロレタリアの会議として、絶大な意義をもっている。世界同時革命をめざす世界単一指導部の

反帝統一戦線と 共青インターの再建を 社青同国際主義派 関西地方委員会

参加

六八年のベトナム再解放の革命能力を過少評価した周辺革命論者、資本主義の平和的改良論に上り、プロレタリアートの解放は、主に植民地人民によって担われてきた世界革命の戦線が先進国プロレタリアートによってより一層強固に打ち立てられ前進しつつあることを示している。そしてこの世界革命の戦線が、キューバ、北ベトナム、そして部分的には中国、北朝鮮との結合を達成し、今また、チェコ、ソ連、ポーランド、東ドイツ、ハンガリー、ユーゴスラビア、ブルガリア、ルーマニア、ギリシャ、トルコ、インドネシア、タイ、フィリピン、ジャバ、スリランカ、マラヤ半島の諸国に波及している。戦線が引き上げられた生産力はこの基盤を拡大させ、世界革命の統一・永続的発展の時代へと入りつつあることをはっきりと示している。

戦後二十年の資本主義の相対的安定の中で、先進国プロレタリア

七〇安保を 闘い抜くために 社青同ML派(談)

参加

砂川闘争以降の全学連の闘いは、国際的にも大きな影響を与えている。10・8羽田闘争以来、石角村の原始的なものではあるが、権力に対して公然と武器をもって闘いはじめた。これは近代階級闘争の新しい発展である。

全世界で同じような闘いがおこっているのは、先進国に共通して既成の左翼組織が帝国主義にきらめく体制内にくみ込まれている関係もある。

このようなとき、学生が帝国主義者の侵略戦争に手をかす立場に立つか、闘う人民と連帯する立場に立つかきわめて重要で、体制内外から脱却して闘うのが人間として当然のあり方だと思つてい

全土基地化反対 8・17伊丹空港闘争へ 革共同全国委員会(談)

不参加

われわれは、日本全土基地化反対の闘い、沖縄の永久核基地反対、本土復帰、基地撤去の闘いを通じて、七〇年安保を闘う。6・26から7・20へと展開される伊丹空港軍事利用反対闘争は、大阪におけるベトナム攻撃基地に対する

日帝打倒の闘争である。全土基地化反対の闘い、沖縄の永久核基地反対の闘い、本土復帰、基地撤去の闘いを通じて、七〇年安保を闘う。6・26から7・20へと展開される伊丹空港軍事利用反対闘争は、大阪におけるベトナム攻撃基地に対する

精算主義に反対 原水禁大会に全力注ぐ 共産主義労働者党(談)

不参加

共産党は、原水禁国民会議を中心とした八月六日の広島大会、十五日の大阪大会に精算する。これらの運動が、現在の情勢とズレている面はある。

しかし、今年から沖縄大会が開かれるように、発展の面も出てくる。

われわれは、これを活性化していくことにより、ますますわけていくことを考える。

六・一五闘争のよき例を以て、発展させて行きたい。

社青同、不参の弁 一事務局への返事

不参加

あれではダメだから、別の集会をしよう、精算主義的な方向には賛成できない。

8・4国際反戦関西集会の呼びかけに対する社青同不参加の理由は次の通り。

一、社青同解放派、社青同国際主義派は不参加。

二、8・15記念集会に参加する。

大阪空港軍事使用反対関西集会

日時 8月17日午後2時
午後6時

場所 豊中市大曾公園
(阪急宝塚線岡町下車)

前進

週刊 四頁 三十円
講読料(各送料共) 六ヶ月 八〇〇円

最前線

隔月刊 一五〇円

中核

隔月刊 三〇〇円

日本革命運動の新时代をひらく
闘う労働者・学生の新聞
革命的共産主義者同盟全国委員会機関紙

闘う青年労働者の闘いの指針
マルクス主義青年労働者同盟機関誌

闘う全学連の真髓を示す
マルクス主義学生同盟中核派機関誌

申込先 大阪市北区黒崎町36
前進社関西支社
電話(37) 六八一六
振替大阪一六〇一六

権力に対して統一闘争を行っていない。このことは非常に重要なことだ。われわれ社青同国際主義派は、この国際反戦集会の中で我々の明確な理論を提出するつもりだ。

この八月反戦集会は、七〇年安保、七〇年代階級闘争をたたき、世界革命の勝利と世界帝国主義の最後の打倒のために、国際反帝統一戦線の結成を勝ち取り共産主義青年インターナショナルを再建せよ。

外部代表
ぞくぞく到着
SWPの代表の来日については、アメリカSWPの代表者も二十一日到着した。

その他、ヨーロッパ関係の西独SPS、フランスJCRの代表やSINOCの代表は昨日来日。

